

活動紹介

夏休み子ども観察会

雨雲の流れを目で追い、遠雷の音に怯えながら催行決定に迷いました。予定を変更し、レクチャーホールで公園の自然と干拓地について説明をしたり紙芝居の上演を披露したりして天候の回復を待ちました。小康状態になったことを確認し園路を歩きました。観察コースを短くして全体的に短縮観察会となりましたが、天候には逆らえない屋外行事ながら、天候に負けず催行でき、思いがけずマルタンヤンマの産卵場面やアオビタイトンボに出会えて最高でした。ただ、参加いただいた方に十分満足して頂けたかちょっと心配です。



紙芝居製作順調 ～SP チーム～

ショートプログラムチームが手がけている新作紙芝居は、6月末ストーリーが完成し、7月からは場面の製作に取り掛かっている。ストーリーにあわせ子どもが楽しめる絵にしたいと可愛く、親しみやすく、明るい雰囲気の場合づくりをめざしている。

秋に開催の、きらら浜自然観察公園ふれあいまつりでのこけら落とし上演に向け発声練習も必要なのではないかなどと完成に向けてチームの意気込みが熱い。

オオアカウキクサとの根競べ続く ～環境サポートチーム～

環境サポートチームのオオアカウキクサとの根競べは、今年もいよいよ本番を迎えています。

オオアカウキクサが公園を侵蝕し始めて5・6年になりますが、毎年早春から繁茂を始め夏場、ひどい時は水面が見えぬほどにはびこります。これでは水中の水生生き物達はたまりません。植物達は光合成ができず、ミジンコやプランクトンなどの微生物は死滅を免れません。そこで環境サポートチームは全力を傾けてこの頑固な外来シダ植物の駆除に努力しています。時には来園者の方も駆除作業に参加して下さり、とても感謝です。環境サポートチームは「今年もオオアカウキクサと腰をすえて向き合う覚悟」と話しています。